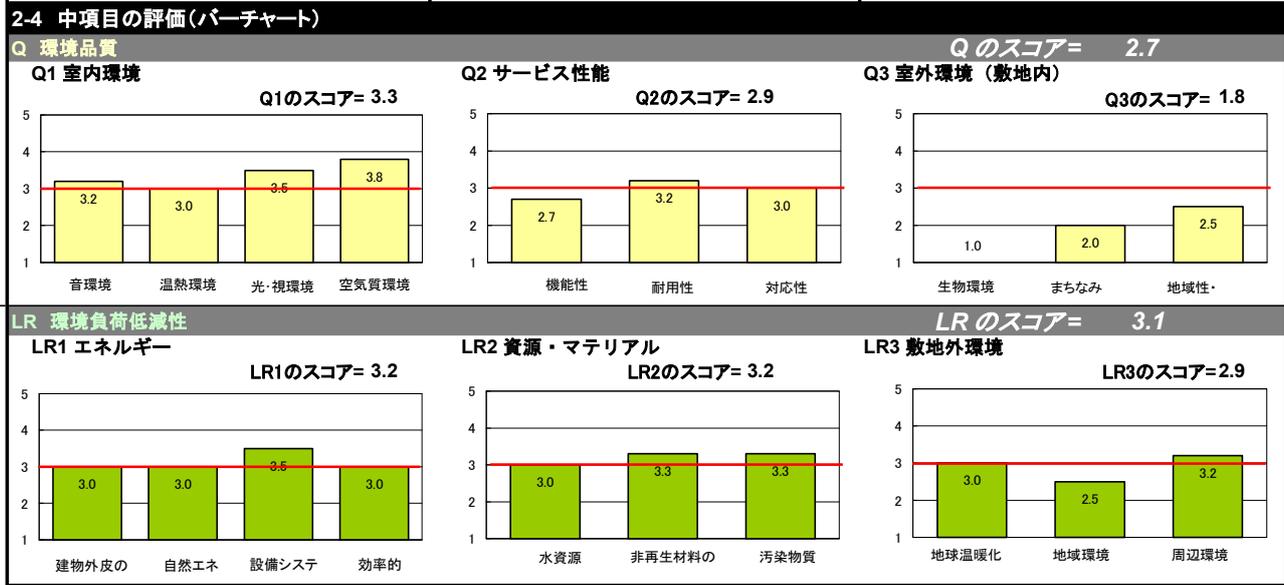


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アルファコート蔵6 新築工事	階数	地上10F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	152 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年10月17日
敷地面積	837 m <sup>2</sup>	作成者	上岡祐介
建築面積	422 m <sup>2</sup>	確認日	2023年10月19日
延床面積	4,042 m <sup>2</sup>	確認者	上岡祐介



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
JR蔵駅より徒歩6分程度の商業地域にある10階建ての共同住宅	照明はLED採用	
<b>Q1 室内環境</b> 開口部遮音性能: 住戸部: T-2以上、昼光率: 共用部: 2.5%≦、住戸部: 2.0%≦ 居室面積の1/6以上開閉可能な窓の使用	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高: 天井高2.5m以上	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 0
<b>LR1 エネルギー</b> 0	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材: 再生砕石、断熱材の使用、LGS+PBの採用	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害チェックリストの過半数を満たし、広告物照明はなし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)アルファコート麻6 新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-		<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		住戸部:T-2以上		<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20		
1.3 吸音				-	-	-	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1 室温				<b>3.0</b>	0.63	<b>3.0</b>	0.63		
2 外皮性能				<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.38		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.3</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.5</b>
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光率		共用部:2.5%≦、住居部:2.0%≦		<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.50		
2 方位別開口				-	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光制御		カーテン・庇によりグレア制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.8</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		床・壁・天井・天井裏のほぼ全面に☆☆☆☆の建材を使用		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.38		
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能		居室面積の1/6以上開閉可能な窓の使用		-	-	<b>5.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-		<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>2.8</b>	1.00		<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	<b>3.0</b>	1.00		
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40		
1 広さ感・景観		天井高2.5m以上		-	-	<b>4.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50		
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.30	-	-		<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.9</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		二丁掛タイル30年以上		<b>5.0</b>	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:20年(フローリング)壁:20年(ビニルクロス)天井:30年(ビニルクロ		<b>4.0</b>	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途3種のうち2種以上にB使用、Eは不使用		<b>5.0</b>	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
3 電気設備				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				<b>2.0</b>	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>							
1	階高のゆとり		-	-	<b>3.0</b>	0.50	
2	空間の形状・自由さ		-	-	<b>3.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			-	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.95	<b>3.5</b>	0.50	-	-	<b>3.5</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	<b>3.3</b>
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生砕石、断熱材、	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS+PBの採用	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつ、GWP=50未満使用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.5</b>	0.33	-	-	<b>2.5</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半数を満たし、広告物照明はなし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)アルファコート蕨6 新築工事	BEE	0.9	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.0	+	2.0	=	5.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

:入力欄